


第 81 回

# 定時株主総会 当期のご報告

---

2022年6月25日

 石井食品





# 当期事業報告



① 新型コロナウイルス感染症の長期化

② 原材料及び光熱費や包装材料の高騰

コロナ禍における食の  
ライフスタイル変容

予測を上回る  
原材料価格高騰

原油価格高騰  
起因による影響

ますます厳しい経営環境へ

① コロナ禍における  
消費者行動の変化にあわせた  
**効率的な営業活動**

② 地域ハンバーグを中心に  
地域商材の  
**新商品拡充**

③ コロナ禍における  
**製造体制の再構築**

④ キャッシュフロー改善PJ  
**全体経費の削減**

**2019年3月期以来の黒字転換**

# 2022年3月期-連結業績

- (1) 売上高は88億円で約5億円の増収。
- (2) 売上総利益は28億円、原材料高騰を受けたが約3億円の増益。
- (3) 当期純利益は0.1億円で黒字転換。(前期は減損損失6.5億円を計上。)

(単位:百万円)

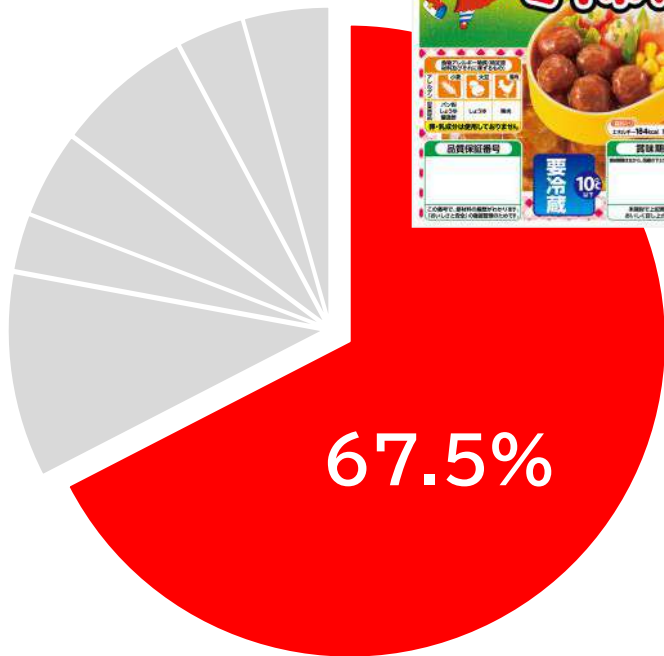
	21年3月期	22年3月期	前期差
売上高	8,307	8,831	+524
売上総利益	2,564	2,849	+285
売上総利率	30.9%	32.3%	+1.4pt
営業利益	△182	78	+260
経常利益	△163	100	+263
当期純利益	△798	16	+814
EBITDA	160	315	+155



# 主力商品 売上状況:ミートボール

## ミートボール

	21年3月期	22年3月期	前年比	前期差
売上高 (百万円)	5,778	5,958	103.1%	+179



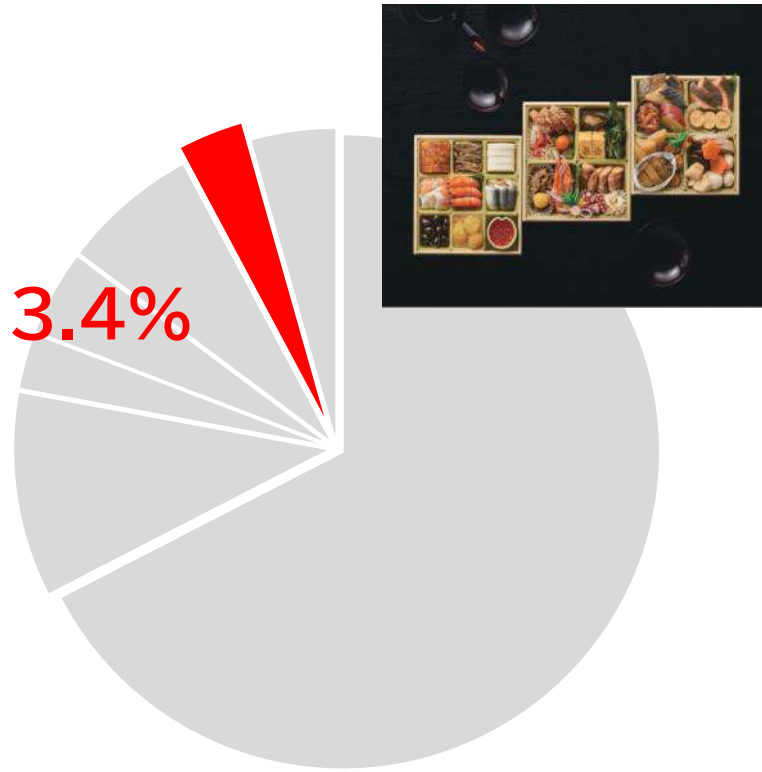
### トピックス

- ・ お弁当需要の回復により4月及び5月は前年比115%。
- ・ 「春のお弁当まつりキャンペーン」を行い、「はじめてのおべんとクンセット」を期間限定で発売。
- ・ 営業活動のPDCAに注力し、内食需要の変化に合わせた売り場提案等を実施。



## 正月料理

	21年3月期	22年3月期	前年比	前期差
売上高 (百万円)	228	296	129.6%	+67



### ■トピックス

- ・ 3密状況回避のため減産せざるを得なかった21年3月期から、生産体制を再構築した結果、増産が可能になり、売上増加。
- ・ コロナ禍に対応すべく個食タイプのお重おせち「迎春小箱」等を販売。
- ・ 「中川政七商店」とのお子さまと一緒に楽しむ新たな体験型のおせち開発。



## 地域ハンバーグ

	21年3月期	22年3月期	前年比	前期差
売上高 (百万円)	147	251	170.1%	+103



2.9%

### ■トピックス

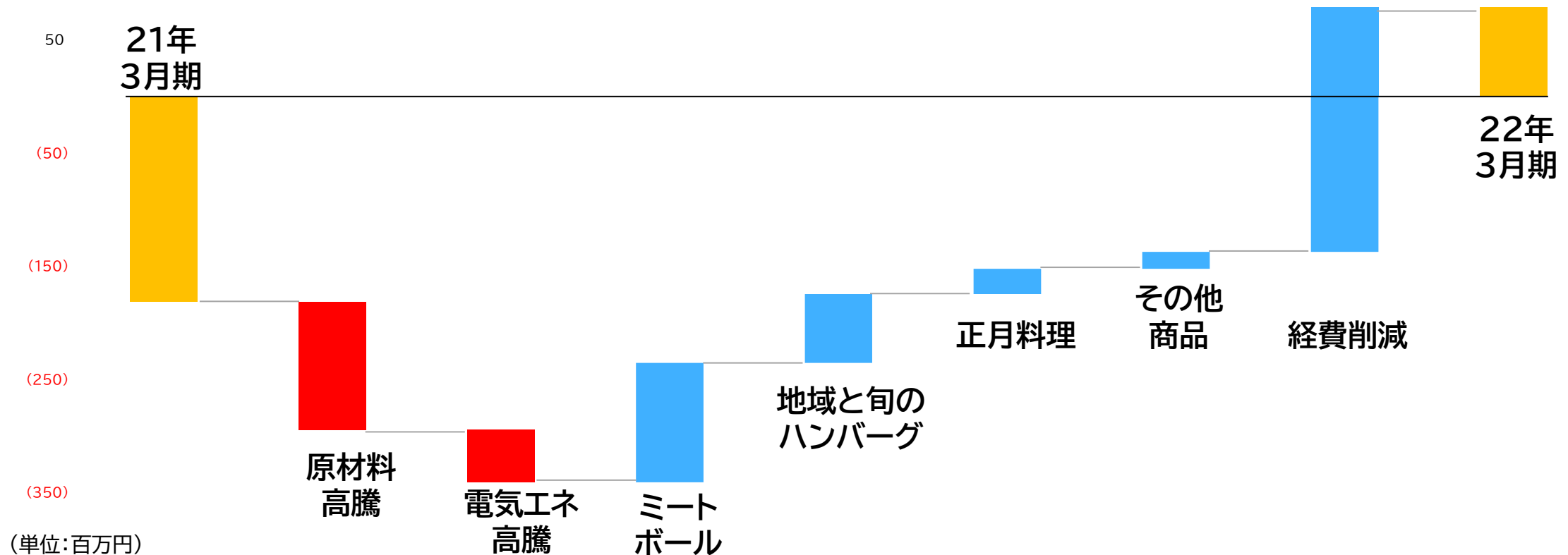
- ・ 西日本地域の食材を使用した新商品を発売するなど、取り引き地域も増加。
- ・ 旬の食材を生かした地域のハンバーグシリーズは、年間を通しての販売体制が整ったことにより、売り場の通年確保及び販路の拡大に成功。





# 2022年3月期-営業

- (1) 前期営業損失182百万円から、今期は78百万円の黒字転換。
- (2) 原材料高騰で約1億円、電気料金及びガス等エネルギー費用は年度後半から高騰し約50百万円の影響。
- (3) ミートボールをはじめ、地域と旬のハンバーグ及び正月料理等の売上増加に伴う利益改善。
- (4) 原材料高騰等への対応として、全社で経費予算執行の徹底、コスト削減に取組み。





# 連結財政状況



# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

## 資産の部

	21年3月期	22年3月期	前期差
流動資産	4,066	3,573	△493
固定資産	2,387	2,461	+73
資産合計	6,454	6,035	△419

## 負債の部

	21年3月期	22年3月期	前期差
流動負債	3,227	2,828	△399
固定負債	583	649	+66
負債合計	3,811	3,477	△333

## 純資産の部

	21年3月期	22年3月期	前期差
純資産合計	2,643	2,557	△85



(単位:百万円)

	21年3月期	22年3月期	前期差
売上高	8,307	8,831	+524
売上総利益	2,564	2,849	+285
営業利益	△182	78	+260
経常利益	△163	100	+263
当期純利益	△798	16	+814



# 2023年3月期 事業展望



# 2023年3月期 業績予想

- (1) 売上高は当社主力商品の市場浸透率が低いエリアの開拓などシェア拡大を図る。
- (2) 原材料価格やエネルギー価格のさらなる高騰により製造コストは上昇見込み。
- (3) 全社横断プロジェクトによるコスト削減活動を強化し収益改善に取り組むが、足元での急激なコスト増を吸収できるかどうかは不透明な状況。
- (4) 今後も様々な要因で変動する可能性があるため、業績予想について修正が必要となる場合は速やかに開示予定。

(単位:百万円)

	21年3月期 (実績)	22年3月期 (実績)	23年3月期 (予想)	前期差
売上高	8,307	8,831	9,252	+421
営業利益	△182	78	△93	△172
経常利益	△163	100	△66	△167
当期純利益	△798	16	△105	△122



2019年度より続く新型コロナウイルス感染症拡大の  
経済的影響を見極めた上、今春に公開予定と発表。  
そして2022年5月、公開。



「ISHII VISION 2030」  
中期経営計画：2022-2026

予測不可能なこの時代において、  
「生産者・お客様がともに喜ぶ新しい持続可能なビジネス」をつくる



注力商品  
取り扱いエリア拡大



2021年より続く  
更なるコスト削減

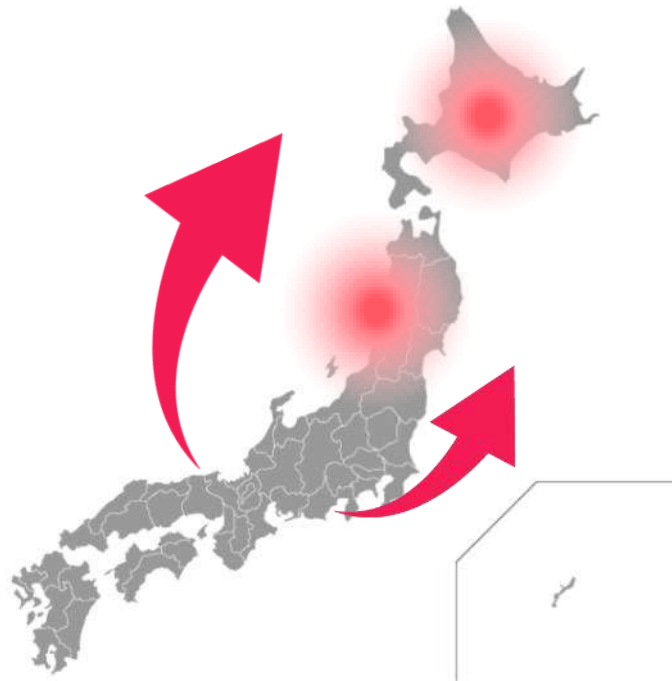


地域と旬  
ビジネス展開の発展



石井食品の企業理念と合致する新たな販路改革による、主力商品売上拡大

1 主力商品市場浸透率の低い  
エリアの開拓



2 商品の取り扱いのない  
流通先への積極的な提案

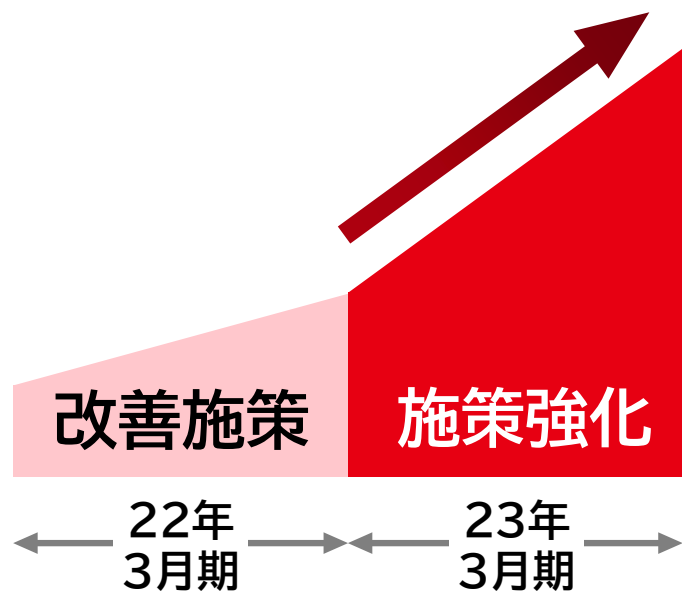






## 徹底したコスト削減

1 キャッシュフロー  
改善プロジェクト推進の継続



製造  
生産性向上  
設備投資

製造コスト  
リカバリー

2 購買、製造、物流を抜本的に見直す  
「コスト構造改革」プロジェクトの遂行



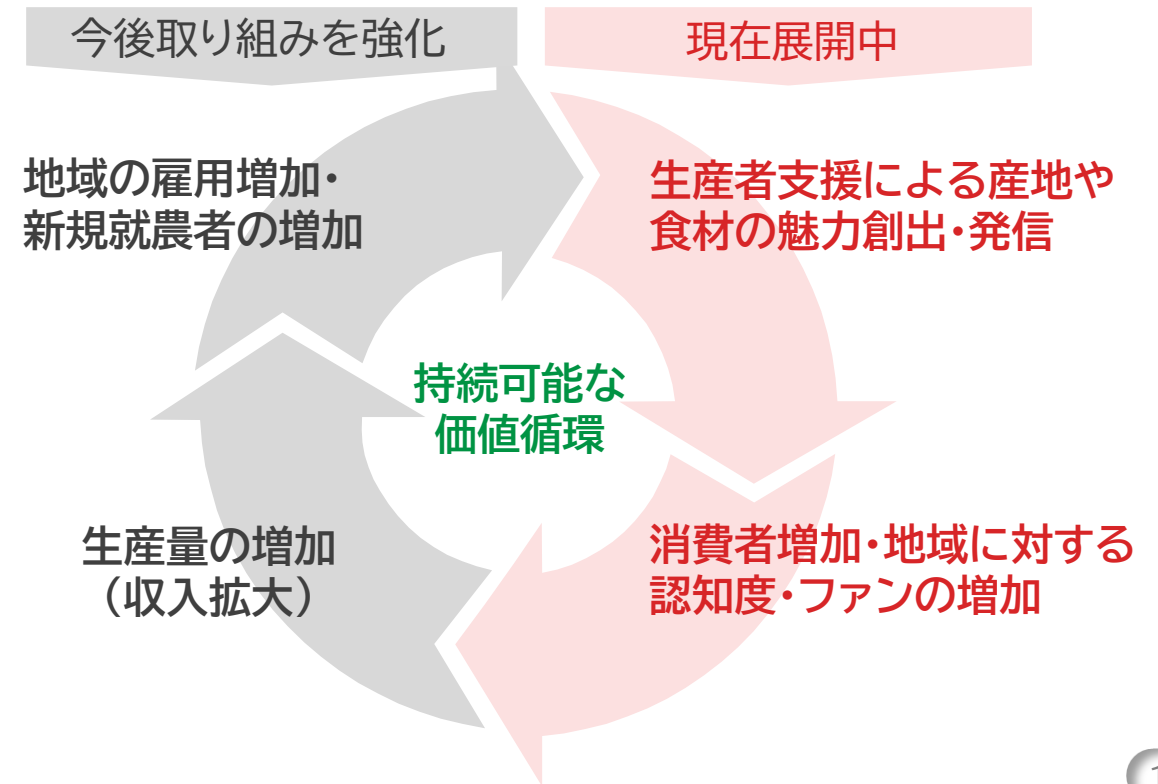


生産者や地域の価値循環のきっかけをつくる地域のパートナーへ

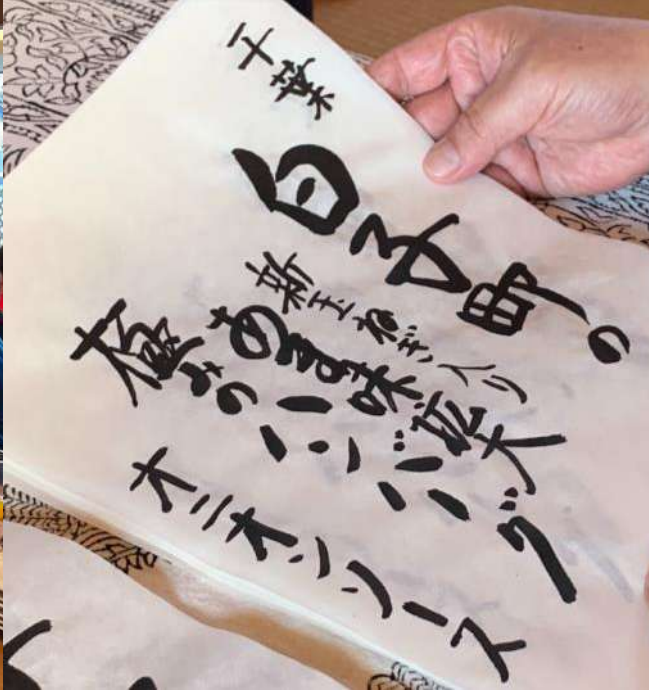
## 1 地域食材のプロデュース活動の強化



## 2 2030年に目指すべき姿に向け始動









2022年度-2026年度

# 中期経営計画

# 01

# VISION

2030年のビジョン「ISHII VISION 2030」

創業から一貫して安心で安全、それでいておいしい  
便利 かつ 高品質な食を世の中に提供してきました。

これから先の未来へ、ほんとうにおいしいものをつくるために  
産地から食卓へ、子どもたちに本物を届けます。

子どもの舌は正直です。

子どもが喜ぶと子育てが楽になり、社会にゆとりが生まれます。

そのゆとりは未来をつくっていきます。

私たちはこれからも地球のために

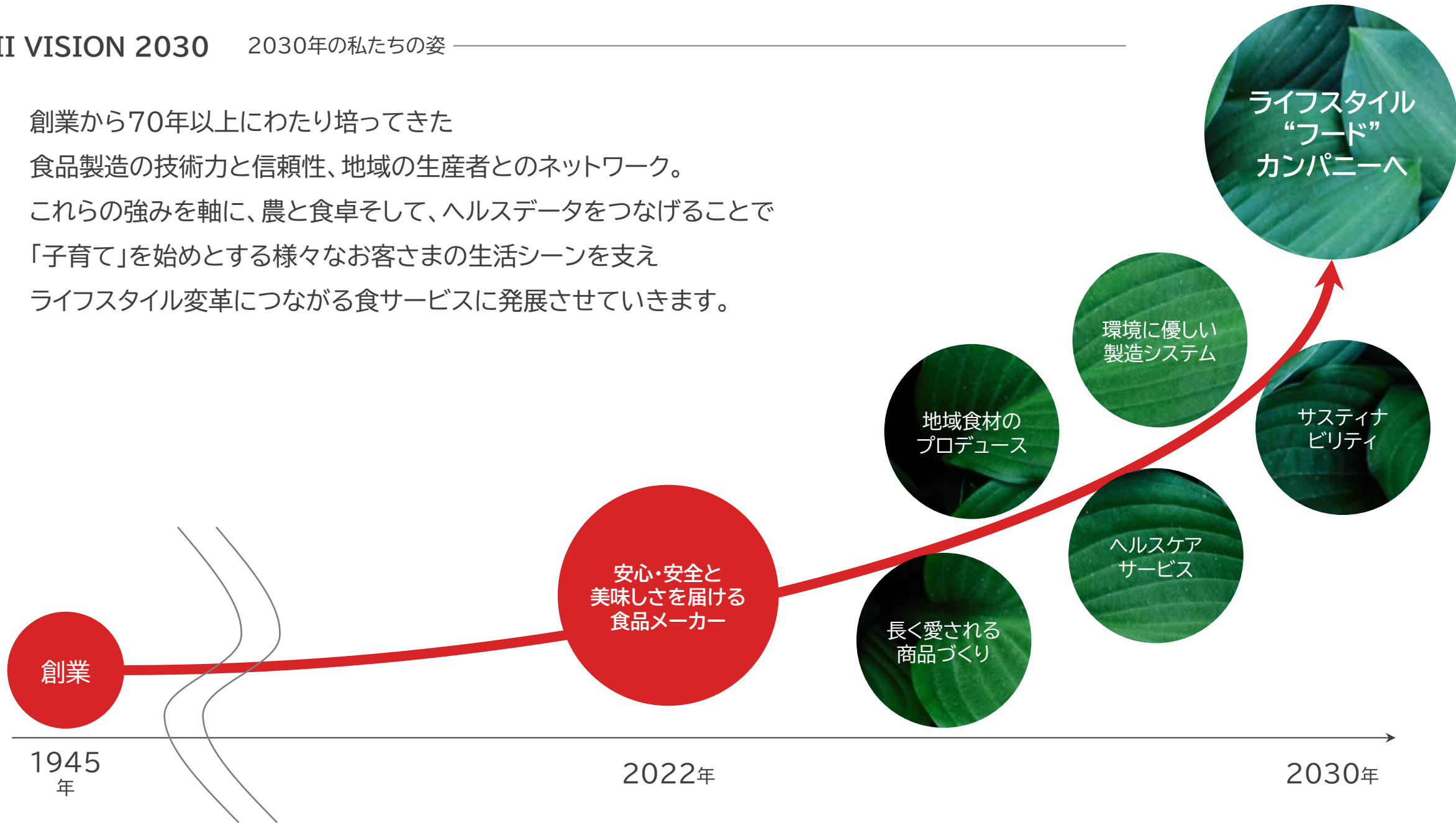
今の子どもと未来の子どもの幸せを想い

食の領域で生産者と生活者をつなげる活動をしてまいります。

農と食卓をつなぎ  
子育てを応援する企業に



創業から70年以上にわたり培ってきた  
食品製造の技術力と信頼性、地域の生産者とのネットワーク。  
これらの強みを軸に、農と食卓そして、ヘルスデータをつなげることで  
「子育て」を始めとする様々なお客さまの生活シーンを支え  
ライフスタイル変革につながる食サービスに発展させていきます。



予測不可能なこの時代において、  
「生産者・お客様がともに喜ぶ新しい持続可能なビジネス」をつくる



注力商品  
取り扱いエリア拡大



2021年より続く  
更なるコスト削減



地域と旬  
ビジネス展開の発展



# 決議事項





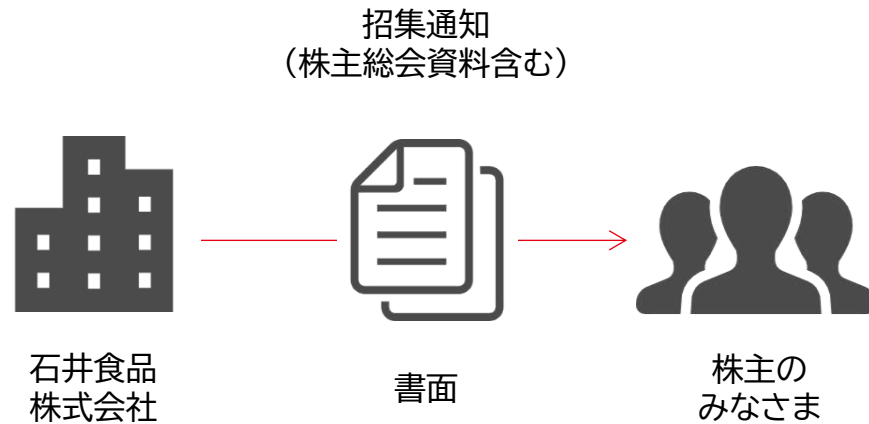
- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 当社株式の大規模買付行為に関する  
対応策(買収防衛策)継続の件

## 期末配当に関する事項

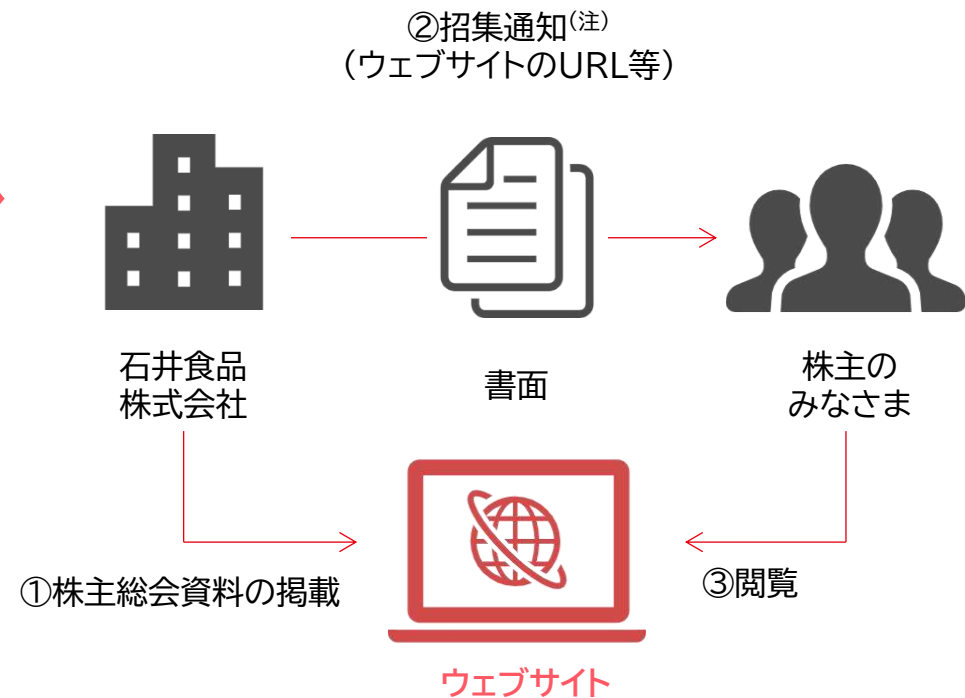
- (1) 配当財産の種類  
金銭といたします。
- (2) 配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき金3円00銭といたします。  
なお、この場合の配当総額は50,631,012円となります。
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日  
2022年6月27日といたします。

「会社法の一部を改正する法律」(令和元年法律第70号)附則第1条ただし書きに規定する 改正規定が2022年9月1日に施行されることに伴い、株主総会資料の電子提供制度が導入されることとなりますので、次のとおり定款を変更するものであります。

現在の招集通知 ※原則として書面送付



新 電子提供制度 電子提供+書面通知





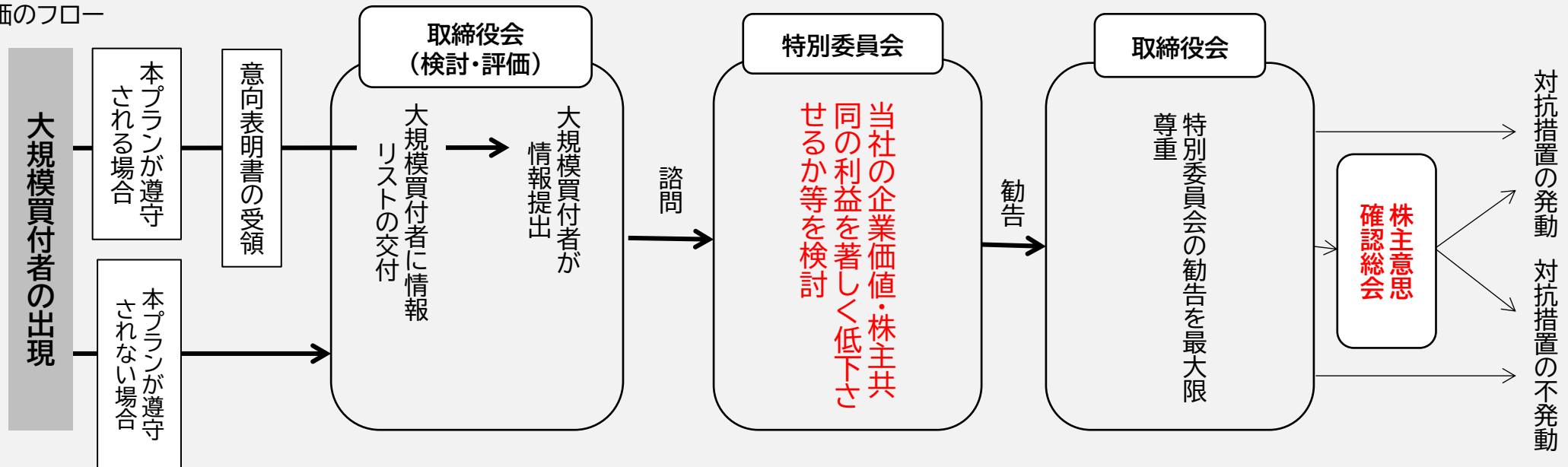
### 買収防衛策を継続する目的

当社の企業価値ひいては株主共同の利益を確保・向上させること

### 《継続に当たっての検討内容》

近年の買収防衛策に関する事例及び裁判例等を踏まえ、大規模買付ルールの内容について所要の見直しを行いました。

#### 検討・評価のフロー





※将来見通しによる注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料(業績予想を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なることが起こりえます。